

## はじめに

平成 23 年(2011 年)3 月 11 日に発生した東日本大震災津波から 13 年を迎えます。

岩手県では、沿岸部を中心に余震や災害関連を含め 5,146 名の尊い命が奪われ、今もなお 1,107 名の方々が行方不明となっています。

改めて犠牲になられた方々の御冥福をお祈りしますとともに、御家族や被災された皆様に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

いわて定住・交流促進連絡協議会では、先の震災により甚大な被害を受けた三陸地域のコミュニティの維持・再生・強化及び復興に向けた地域振興を支援するため、総務省の復興支援員制度を活用し、平成 24 年 10 月から令和 5 年 3 月までの 10 年 6 か月の間、全国から人材を募集し、県内の被災沿岸市町村を中心に県の復興支援員を「いわて復興応援隊」として配置しました。

いわて復興応援隊は、被災地の見守りや地域おこしなど、復興に伴う地域協力活動を通じ、コミュニティの再構築や地域復興・活性化を図る活動を中心に、県内被災地域の自治体、NPO、第三セクター等の配置先において、様々な分野の支援活動を行ってきました。これまで隊員の活動を理解し、温かく受け入れていただきました地域住民の皆様や受入機関・団体の皆様、共に活動いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

いわて復興応援隊のこれまでの活動については一区切りといたしますが、応援隊が地域と歩んだレガシーは、令和 5 年度から活動を開始しました「いわて地域おこし協力隊」をはじめ今後も岩手の地域づくりに受け継いで参ります。

本書は、いわて復興応援隊のこれまでの活動を三陸の復興の推移と併せて振り返り、復興支援員の活動事例として記録するものです。

本報告書を作成するにあたり、元いわて復興応援隊並びに受入機関の皆様には、御多忙の中、インタビュー取材や寄稿等に御協力いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

最後となりましたが、いわて復興応援隊として活動された 57 人の皆様には、岩手三陸の復興に御支援いただきましたことに、改めて感謝申し上げますとともに、今後も様々な関りを通じて岩手三陸とつながり続けていただければ幸いです。

皆様とまたお会いできる日を楽しみにしています。

いわて定住・交流促進連絡協議会  
会長 岩淵 伸也